

公益社団法人日本建築家協会 本部役員候補者選挙について (第2回告示)

公益社団法人日本建築家協会
選挙管理委員会
委員長 森暢郎

2026年度総会にて選任される本部役員候補者の選挙に関し、11月26日の締切日までに下記の方々から立候補の届け出がなされました。

下記全員、公益社団法人日本建築家協会役員候補者選挙規程並びに正会員から選任する役員候補者に関する選挙規程細則に適合していることを確認し、立候補者名簿に登録しました。

会長候補者については、選挙権を有する全正会員(2025年9月15日までに正会員資格を得た者)による選挙となります。

各支部長候補者、理事候補者については、いずれも立候補者数が定数と同じであったため、投票は行わず、役員候補者選挙規程第11条2項の規程により、全員が選出されました。

◆立候補者名簿

〈会長候補者〉 (定数1) 松山 将勝、林 美樹

〈支部長候補者〉 (各定数1)

北海道支部	川村 弥恵子
東北支部	早坂 陽
関東甲信越支部	鈴木 弘樹
東海支部	奥野 美樹
近畿支部	萬野 光雄
中国支部	高志 俊明
四国支部	伊月 善彦
九州支部	福田 哲也

〈理事候補者〉

北海道支部	(定数1)	川村 弥恵子
東北支部	(定数1)	早坂 陽
関東甲信越支部	(定数4)	八木 佐千子、安川 智、清水 智津子、田口 知子
東海支部	(定数1)	奥野 美樹
近畿支部	(定数2)	萬野 光雄、谷岡 拓
中国支部	(定数1)	高志 俊明
四国支部	(定数1)	伊月 善彦
九州支部	(定数1)	福田 哲也

—上記複数の場合は届出順—

◆会長候補者選挙日程

2026年1月15日(木)立候補者名簿、投票用紙等送付／JIA機関誌『jia magazine』同封

2026年2月 9日(月)投票終了日(投票用紙投函期限)

2026年3月16日(月)第3回告示(選挙結果発表)／JIA本部HP(即日)／JIA機関誌『jia magazine』

※会長候補者2名による「会長立候補意向表明会」を1月中旬以降に動画配信予定です。

詳細は1月15日の立候補者名簿、投票用紙等送付の際にお知らせいたします。



会長立候補者 松山将勝
まつやままさかつ

推薦者氏名：八木佐千子、伊月善彦、小西彦仁、
佐々木寿久、浅井裕雄、金城 優、松尾和生

〔略歴〕

1968年 鹿児島県生まれ
1991年 東和大学工学部建設工学科卒業
1997年 松山将勝建築設計室 2000年 株式会社松山建築設計室に改称
2020年～2024年 公益社団法人日本建築家協会 九州支部長
2022年～2024年 公益社団法人日本建築家協会 副会長
(九州支部長と兼任)
2024年 JIA 建築家大会 2024 別府 大会委員長



会長立候補者 林 美樹
はやし みき

推薦者氏名：伊東豊雄、坂田 泉、遠藤謙一良、千葉 学、
小田義彦、篠崎淳、所 千夏

〔略歴〕

1959年東京生まれ。都立富士高校在学中、米国オハイオ州 Athens H.S. 留学。武蔵野美術大学卒、同大学院修了、芸術学修士。(株)日本設計勤務(1985～1996)。ヴェネチア建築大学留学(1992～1994)。(株)Studio PRANA主宰(1996～現在)。武蔵野美術大学、前橋工科大学等で非常勤講師。組織から独立後は、持続可能な建築のあり方に主眼を置き、パッシブデザイン、土に還る素材、日本の木造伝統技術の継承などに注力。現在、国交省社会資本整備審議会建築環境部会専門委員、国交省中央建設工事紛争審査会特別委員。地域活動では杉並建築会代表。JIAでは地域会代表、本部理事、住宅等連携会議議長等。

〔所信〕

私は2014年～2024年までの10年間、JIA 九州支部の要職を務め、2022年～2024年には佐藤会長のもとで JIA副会長を歴任し、さらに2024年にはJIA建築家大会2024別府の大会委員長を務めました。この度、全国の支部長を中心とする推薦者から強い要請を受け、JIA会長という大役に立候補することを決意致しました。私は「未来への結束」を基本理念に、会員の一人ひとりがJIAに誇りを持ち、社会に貢献できる環境を整える事がJIAの責務であり未来への礎であると考えます。人口減少や災害、社会変化など困難な時代だからこそ、結束の力で新しい価値を創造し、次の世代に誇れる JIA を築いて参ります。

〔推薦理由〕

まず、建築家として、妥協のない作品づくりは、地域の技術の底上げや周辺の建築家に大きな影響を与えている。また、JIA副会長や JIA 建築家大会 2024 別府の大会委員長としては、大きなリーダーシップをもって、JIAの運営に尽力した。さらに、九州建築新人賞の創設や JIA 全国 10 支部が企画する「注目の若手建築家による建築討論」の開催など、次の世代へ建築家の道を開くことに力を注いでいる。JIAが新たなステージに進もうとする時、地方からの視点と強いリーダーシップをもった松山将勝氏はJIA会長として相応しく、ここに推薦する。

(JIA 東海支部長 浅井裕雄)

〔所信〕

JIAは高い志を持つ個性豊かな建築家の集団です。多様な分野で社会貢献している会員の活動を社会へ広げたいと思います。組織全体の風通しも重要で、本部、支部、地域会を繋ぎ、意思決定過程の見える化をはかります。全国単一組織である JIA の利点を活かし、活動情報の共有、離れた地域の会員同志の交流・協働を促進し、従来の海外建築団体との連携に加え、会員が持つネットワークを活かした国際協力の幅も広げたいと思います。資格制度については経緯を尊重し、将来を見据えて検討、高い見識を有する会員の皆様の協力を仰ぎます。他業種団体との連携を図り、ワクワクする、活力ある JIAを目指します。

〔推薦理由〕

初めてお目にかかった林さんは、おだやかな笑顔が魅力的で、どこか凜としたたたずまいが印象的でした。JIAでは理事を務められ、本部の会議だけでなく地域会含めて様々な活動に積極的に参加することでJIA組織を深く理解されている方です。また私自身も委員を務める国交省社会整備審議会の専門委員としての実績もあり、その会議の中でも冷静に、かつ堂々と意見を述べる姿は大変頼もしいと感じます。どんな席でも一人一人の意見を丁寧に聴き、その意見を尊重しながら、ひとつの大きな方向性を見出す力を持ち、語学もできる国際派の林さんは、JIAの新しいリーダーとして、ふさわしい方だと思います。

(JIA 近畿支部 所 千夏)